

放課後等デイサービス

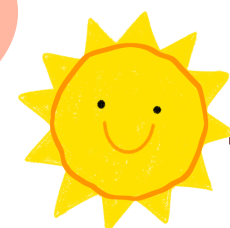


放課後等デイサービスにおける
支援プログラム 公表



合同会社寺子屋TIDA
作成日：2024年9月14日

理念



ティダ(太陽)の意味を施設名に込めた思い。

一人ひとりが「輝く子たちであれ」という願いをもとに
こどもたちの可能性をとことん信頼します。
支援者であるわたしたちは縁の下の応援団です。

支援方針

- 子どもをひとりの人として
- 「優しさ」と「ていねいな厳しさ」(異なる愛) で関わり身
- 関わる人の笑顔のために
- 最善をつくること



提供方針

※必要に応じてヒーリング・アクセスバースなども行います。

療育全体

血管と神経のワイヤリングを行い血流の改善と骨軸で立つことを目標に「ゆらぎ・入力・縦巻き横巻き・自律神経へのアプローチ」を行います。【個別】



学習支援



一人ひとりの学習面の課題に応じた個別学習内容で支援を行います【個別】

小集団・制作・体験活動



季節や行事に合わせての制作や社会体験活動、地域交流となる様々なイベントを行います。【集団】

営業時間等



営業日 休業日

◎営業日

火曜日から土曜日

◎休業日

日曜日・月曜日・祝日・

お盆

年末年始12月29日～1月3日



営業時間

・火～金曜日

10時～18時

・土曜日・長期休み

9時～17時



送迎の有無

自宅・学校・学童への送迎

有(要相談)

Tido

01 見学・ご相談

メール・お電話にてお気軽にご連絡ください。

02 アセスメント

アセスメントシートの活用とヒアリングをもとに頂いた情報から子どもの課題を領域ごとに分析し現状の把握をします。

03 個別支援計画の作成

保護者・子どもの意向を尊重し、環境を考慮した上でサービス提供の目標と計画を立てます。

04 発達支援療育の提供

支援計画に基づき、子どもたちが様々な活動を通して自己決定をしていく力を育むとともに療育全体で身体の調整も行います。

06 個別支援計画の見直し

モニタリングをもとにサービス提供の目標と計画を見直します。

いつの間にか気にならなくなってきたな。と思う成長が見られるように支援し卒業をめざします。

05 モニタリング

関係各所と連携し、療育の進捗の確認と情報提供を行います。計画の見直しなどの参考にします。



支援内容



	5領域	支援内容	
本人支援	健康・生活	食事・身の回りの整理整頓・準備・片付け・物の自己管理・アクセスバース	
	運動・感覚	療育整体	ゆらぎ・入力・縦巻き・横巻き・自律神経へのアプローチにより血流改善＋骨軸でたつ
		粗大運動	クロススクロール・ボール・ジャンプ・原始反射・恐怖麻痺反射、その他に対応関するプログラムを実施
		微細運動	引っ張る・掴む・つまむ・貼る・塗る・擦る・混ぜる・書く・描く・切る・積む・通すなどに関するプログラムを実施
	認知・行動	感情概念・時間概念・数・比較・四則演算・図形・他者意識・程よい距離感・身体部位・役割・自己決定力向上などに関するプログラムを実施	
言語・コミュニケーション	文字を読む・書く・文章を書く・文章の読み取り・音読タイム・適切な対人スキルの表現習得・行動・感情のコントロール・意思伝達・表出などに関するプログラム		

本人支援は学習支援と療育全体の2本柱を中心に小集団活動・制作・体験・エネルギーワークなどで行っている。

支援内容

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ①児童生徒の発達に関する相談・助言等 ②児童生徒の学習面に関する相談・助言 ③児童生徒の学校生活・集団生活における困り感への相談・助言 ④身体面でのサポートに関する相談・助言 ⑤支援内容に関する相談・助言 ⑥家庭生活に関する相談・助言 ⑦きょうだい児に関する相談・助言等 ⑧制度に関する相談・助言等 <p style="text-align: right;">※ご家族のニーズに応じ① ⑧などの相談援助を事業所での対面(急ぎ電話の場合もあり)において実施</p>
------	--

支援内容

移行支援

☆インクルージョンに向けた取り組みの推進



1. 事業所で支援し、習得した様々な行動・言動・精神を学校や家庭その他のコミュニティにおいて同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行う。
 - (1)練習と異なる指示や場面でも似たような場面で適切な行動を引き出すことができる。
 - (2)強化子がなくても適切な行動をとり、継続することができる。
2. 地域社会の中でも積極的に活動をすることを推進するため、地域の施設・人材などを活用する。
3. 会議等を通じて、児童生徒の心身の状況や生活環境などの把握に努め、情報提供や連携を行う。



支援内容

主な行事

☆子どもたちの楽しみのひとつであるとともに、スタッフのスキル表現の場であり、外部講師との交流の時間・場として設定している。

1. SSTに関するイベント（買い物体験・地域の施設活用・小集団活動において）
2. 季節に関するイベント（色水遊び・水遊び・ハロウィン・クッキング・その他季節色のあるもの）
3. 学習に関するイベント（ダイタランシー・英語遊び・漢字組み合わせなど）
4. 運動・健康に関するイベント（療育整体親子体験会・発達ヨガ・発達遊び・熱中症や栄養について）
5. 音楽に関するイベント（リトミック・楽器作りや楽器に触れよう）
6. 工作に関するイベント（パステルアート・キャンドル・ボタニーアート・スライム・バスボム作り・ちぎり絵など夏休み中のティダアート展に向けての制作など）



支援内容

職員の質の向上

♥ 誰のための支援・より良い支援のために

1. 管理者・児童発達支援管理責任者向けとして

- (1)積極的に外部研修の受講とアウトプットを図り、役割の再確認を行うとともに人材育成・在り方について研鑽を行う。
- (2)人材の適材適所の配置を行い、一人ひとりが本来持ちうる能力を発揮できるよう、個別にコミュニケーションのアプローチを変えていく。(カウンセリング・コーチング・メンタルケア・)

2. 支援者向け

- (1)支援者として求められている職務責任を理解する。
- (2)療育全体の受講・スキルアップを図る。
- (3)特性の理解と個別支援の在り方について学ぶ。
- (4)学習支援のやり方についての共通理解と実際を学ぶ
- (5)他者との交流において悩みや成功体験などの共有を図る。

3. 全体研修

- | | | |
|---------------|---------------|--------------------|
| (1)療育整体に関する研修 | (2)学習支援に関する研修 | (3)虐待防止・身体拘束に関する研修 |
| (4)事故防止に関する研修 | (5)感染症に関する研修 | (6)BCPに関する研修(災害など) |
| (7)処遇改善に関する研修 | (8)性教育に関する研修 | (9)マナー接遇に関する研修など |



大好き！！療育整体とは



療育整体とは

本来の体に整えると
猫背、巻き肩、寝つきがよくない
痲痺etc.が改善します。

整体で血流を上げ、身体の形を正しい位置に戻すことで
「自己発達推進力」を促します。姿勢・巻き肩・猫背・
歩き方の改善など「背骨を揺らす」「体を縦、横に擦る」
「手首からいれる脳への低刺激」などの簡単な方法で
血流改善、睡眠リズムの整えや痲痺の緩和などが期待できます

初めての方も是非、体験してください！
お問合せもお気軽に！

